

令和2年霞台厚生施設組合議会第2回定例会発言通告一覧

【一般質問】

順	氏名	質問事項	答弁を求める者
1	小松豊正	1 6か月後に供用開始を迎える新広域ごみ処理施設建設の進捗状況について (1) 現時点の工事進捗状況について説明を求める。 (2) 第2期地域計画の既存施設の解体工事費、中間置場設置費用の予算、及びそれらを加えると総額はどうか。 (3) 当初予算に比べると大幅な増額となるが、そのことについてどのような見解をもっているか。	管理者、担当課長
		2 地球温暖化防止の流れに逆行するプラスチックごみのサーマルリサイクルはやめて再資源化を求めることについて (1) 環境省、経済産業省のプラスチック再資源化に関する有識者会議の報告をどのように受け止めているか。 (2) 今春から開始した水戸市清掃工場のプラスチックごみの再資源化の取り組みをどのように受け止めているか。 (3) 新治広域組合でこれまで実施してきたプラスチックごみの再資源化の実績と教訓をなぜ生かして3市1町の方針にしないのか。 (4) 来年4月供用開始の霞台新ごみ処理場では、サーマルリサイクルの方針を撤回し、再資源化の方針に切り替えることについて答弁を求める。	管理者、担当課長
		3 地域還元施設の建設について (1) この建設計画の最新の到達点について説明を求める。 (2) 地域住民への説明会はどうか。どのような意見が出ているか。 (3) ごみ焼却熱を温水に活用できないとする理由はなにか。 (4) 白雲荘を利用していた住民が新治広域事務組合のふれあいの里を利用する場合、1人300円を補助してほしいと要望をあげ続けてきたが、いまだに実現していない。いつどのような場でどのように議論してきたのか、明確な答弁を求める。	管理者、副管理者、担当課長
		4 現在の霞台環境センターにおいて、平成6年度の稼働以来、令和元年度決算までの年度ごとの修繕費の推移と特徴について (1) 「老朽化」と修繕費はどのような関係にあるか。	管理者、副管理者、担当課長
2	川澄敬子	1 ごみの減量化を進めることについて ごみ減量化などの対策は、各市町が具体的な目標等を定めているが、新たなごみ焼却場が稼働するにあたり、共通の目標や対策を定めて進めるべきではないか。毎年気候変動による大きな被害が起きており、当該市町も例外ではない。具体的な対策や住民への啓蒙を強めるなど、霞台厚生組合として取り組むべき。	管理者